

地域包括支援センターからの活動状況報告について

～令和7年度の生活実態把握訪問～

・訪問期間:令和7年7月～令和8年1月

・訪問者: 6月1日時点で

施設入所していない、病院入院していない、介護サービスなどを利用していない方を対象。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ①「85歳以上の高齢者の方がいる夫婦のみの世帯」 | :13世帯26人 |
| ②「前年度豊浦町に転入された75歳以上のひとり暮らしの方」 | :2人 |
| ③「75歳のひとり暮らしの方」 | :11人 |

・実態把握訪問者 (過去4年間の訪問者数)

令和3年度:5月1日時点で75歳以上である一人暮らしの方 :130名の訪問

令和4年度:

4月1日時点で85歳以上の高齢者がいる夫婦(兄弟)のみ世帯

(子ども、孫等との同居者がいる場合は除く) :12世帯、23名の訪問

令和5年度:6月1日時点で80歳に到達した一人暮らしの方:62名の訪問

令和6年度:5月1日時点で75歳以上である一人暮らしの方:117名の訪問

・訪問目的

・加齢に伴い、生活を送るうえで、「生活上困難となってきたこと、先々心配となるであろうこと」をお話いただく。

・地域包括支援センターを対象者により身近に感じてもらう

(いつでも相談しやすい関係になること、身近な相談ができる機関となる)

・対象者の状況を事前に把握しておくことで、いざといった際に迅速に対応できる。

・豊浦町の社会資源の情報をお伝えする。

・訪問内容

- ・緊急連絡先
- ・通院先
- ・現在の困りごと等の確認
- ・車の運転の有無
- ・運動の機会
- ・外出の機会
- ・消費者被害にあっていないかの確認
- ・社会資源についての情報提供(希望の確認):緊急通報システム、スワンネット

・訪問結果(主な内容)

(一人暮らし)

- ・緊急連絡先の把握が行えなかった(教えたくない)人や道外のみしか家族がいない。
- ・自営業の人は、現役で働いている方もいる。
- ・定期通院していない方もいる。(いよいよ体調が悪くなった場合に通院を考える。)
- ・食事を作るのが大変なので、配食サービスの回数を増やせれば増やしたい。
- ・視力低下があり、畑で何度か転んでしまった。
- ・隣人トラブル(事実でない事を色々と言われて困る)

(夫婦訪問)

- ・夫が病気になって運転していた車を辞めた。妻は、もともと運転していない。不便になったが、コミュニティバスが本当に助かっている。
- ・整形疾患(腰や太ももが痛い。)があつて生活が徐々に大変になっている。
- ・白内障で目がぼやける。
- ・手すりがないので、弱った時が不安。